

# 会 議 録

行 田 市 教 育 委 員 会   令 和 元 年 第 9 回 8 月 定 例 会

招集年月日	令和元年8月9日（金）	開会場所	行田市教育委員会 2A会議室		
開閉の時刻 及び宣言者	開会8月9日（金） 午後 2時00分	教育長 鈴木トミ江			
	閉会8月9日（金） 午後 3時15分	教育長 鈴木トミ江			
教育長	鈴木 トミ江	教育長職務代理者	岸 田 昌 久	仮議長	
席次番号	出席の教育長 及び委員氏名	摘 要			
1	鈴木 トミ江				
2	岸 田 昌 久				
3	鹿 山 高 彦				
4		増 田 雅 久欠席			
5	大久保 英子				
議 事 参 与 者			書 記		
学校教育部長		江利川芳治		書記長 諸貫 忠秋	
学校教育部次長				書記次長 白井 克典	
兼学校教育課長		荻原 章		書記 久積 史明	
生涯学習部次長兼図書館長					
兼視聴覚ライブラリー館長		福原 智			
学校教育部副参事		今成 健			
教育総務課長		諸貫 忠秋			
学校給食センター所長		満井 房子			
スポーツ振興課長		細谷 博之			
文化財保護課長		中島 洋一			
郷土博物館長		鈴木紀三雄			
教育文化センター所長					
兼中央公民館長		風間 重文			
教育研修センター所長		春田 盛男			
ひとつくり支援課主幹		加村 賢二			

会議事件名		顛	末
会 議 の 進 行 状 況	議案第52号 行田市教育委員会の事務 事業に関する点検評価報告 書について	教育長 本日、増田委員が欠席となっているが、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第3項に規定する定足数である過半数に達しているので会議は成立する。	
		市民憲章唱和	
		教育長 本日の会議日程は議案3件である。日程第1 議案第51号について、議会案件であることから非公開、議事録については議会終了後となるので公開とし、その他の案件は公開としてよろしいか。	
		【全委員承認】	
		教育長 日程に先立ち、7月定例会の会議録について事務局に報告を求める。	
		書記次長 7月定例会、会議録報告	
		教育長 何か意見等はあるか。	
		【全委員承認】	
		教育長提案、書記次長議案朗読	
		教育総務課長 この報告書は、1の「はじめに」から5の「総評」までで構成されており、「1 はじめに」として、報告書作成の趣旨が記載されている。 「2 点検評価の対象及び方法」であるが、点検評価対象は、行田市教育大綱に位置付けてある8つの柱に沿った平成30年度教育行政重点施策に掲げる主要事業のうち、新規事業や見直しを図ったもの、毎年度継続実施している事務事業	

<p>会 議 の 進 行 状 況</p>		<p>でも各課所館において重要視している47事業に絞って「事務の点検評価シート」を作成し、必要性、有効性、効率性、達成度、方向性から評価している。対象期間は、平成30年4月から平成31年3月までであり、この点検評価を行うにあたり、教育に関し学識経験を有する横山道輝氏及び木村清治氏からご意見・ご提言をいただいた。</p> <p>「3 点検評価の結果」は、各評価の項目ごとに、グラフで表したものとそのグラフの説明として、各課所館別の評価項目の内訳を掲載したものである。</p> <p>次に、各課所館が所管する事務事業について1事業1ページにまとめ、上段に事務事業の概要、下段に決算額、事業の成果・評価、有識者の意見、課題及びそれに基づく今後の方向性を記載している。</p> <p>事業ごとの説明は省略し、事前に委員からいただいた質問及びその回答をまとめた参考資料に基づき説明する。</p> <p>・点検評価全般について (質問) 点検評価の対象は、新規のもの、拡大・縮小・廃止のもの、見直したもの、継続的に行っているものが挙げられているのか。 (回答) 教育総務課 昨年度当初に公表した教育行政重点施策の中で、新規のもの、拡大・縮小・廃止のもの、見直したものなどで重要なものを掲げており、それを今回点検評価している。 概要等に記載しているが、新規のものについては、目次に記載しているが、事業のページにも記載することとした。 (質問) 事業の評価欄の記述について、「必要性がある」などの「必要性」は省略したほうが見やすくなるのではないか。他の評価の種類についても省略したほうがいい。 (回答) 評価欄については、評価基準を設けて評価しており、その基準の文言の中には、省略することでわかりにくくなることがあるため、現状のとおり記載としたい。 (質問) 補助金、補助率の記載が統一されていない。</p>
--	--	---

<p style="text-align: center;">会 議 の 進 行 状 況</p>	<p>(回答)</p> <p>補助金の有無について、記載がないものは当初より歳入予算を見込んでいない事業であり、予算がある事業について有無を記載し、補助金が有るものはその補助率を記載しているものである。</p> <p>(質問)</p> <p>2～3ページの点検評価の結果、概要では、達成度が「達成済」、「概ね順調」が95%を超えるが、51ページのまちづくり指標の推移をみると、半数以上が未達成で下降傾向にある。また、19項目中7項目が判断不能である。</p> <p>(回答)</p> <p>まちづくり指標の項目をもとに、事業を実施しているが、各々の事業の成果指標として挙げられているものは、クリアしているものの、そのまちづくり指標の数値に反映されていないと思われる。そのため、まちづくり指標と点検評価の関連について、事業を見直す必要がある。</p> <p>また、まちづくり指標のうち、7項目が不明な理由は、4年に1度実施する市民意識調査の結果を指標としているためである。</p> <p>(質問)</p> <p>次年度は、第5次総合振興計画の最終年度で総括の年である。総合振興計画の指標、目標値とこの報告書の関連を忘れられていないか、齟齬はないか、見直しが必要である。</p> <p>また、新しい総合振興計画の策定に際しては、改善が不可欠であり、この点検評価報告書が改善の根拠となるように意識する必要がある。</p> <p>(回答)</p> <p>まちづくり指標に反映されるよう市民の立場で事業の見直しを図っていきたい。また、新しい総合振興計画の策定にあたっては、この点検評価を反映させ、より実践的な総合振興計画の内容、指標づくりになるよう努めていく。</p> <p>(質問)</p> <p>有識者の意見と今後の方向性が対応していて良い。</p> <p>(回答)</p> <p>今後も、事業を見直す際に、有識者の意見を参考に進めていく。</p> <p>・行田市放課後子ども教室について</p> <p>(質問)</p>
--	---

<p style="text-align: center;">会 議 の 進 行 状 況</p>		<p>毎年拡大し、指導者謝金等が増加しており、この先も経費の増加が懸念される。国庫補助の内容を確認したい。また、市の持ち出しはどの程度なのか。</p> <p>(回答)</p> <p>「埼玉県放課後子供教室推進事業費補助金」は全額補助の項目もあるが概ね国・県からの補助金2/3、市の支出が1/3となっている。平成30年度の「行田市放課後子ども教室事業」の総支出額は1,563,449円で市の持ち出しは443,449円であった。</p> <p>・「子ども読書活動推進計画」に基づく事業の実施</p> <p>(質問)</p> <p>貸出冊数が増えているのは、借りている人数（延べ人数ではなく）が増えているのか、それとも一人当たりで借りている冊数が増えているのか。また、子供たちが借りている本の種類に傾向の変化はあるか。</p> <p>(回答)</p> <p>図書システムにおいて、返却処理後の個人の貸出記録は保持しないため、借りている実人数は把握できない。利用者人数は延べ人数である。また、児童書の年度ごとの貸出数上位の作品の傾向は、ほぼ変わっていない。</p> <p>・パワーアップサポーターの配置</p> <p>(質問)</p> <p>対象学年、教科の拡大は良い。法的問題はわからないが、放課後子ども教室等にも派遣し、学習の場を拡大することで学力向上につながるのではないかと。</p> <p>(回答)</p> <p>学力向上対策として、放課後の学習については今後の課題の一つであると考えている。</p> <p>・小中一貫教育事業の推進</p> <p>(質問)</p> <p>小中一貫教育についてまだ理解されていない様子であった。今後も、説明する場を設け、理解いただけるよう努めていく。</p> <p>・「うきしろスタンダード」の活用</p> <p>(質問)</p> <p>若い先生の指針があるのは、指導力の平均化という点で重要である。学習指導要領や教科書も変わるので、「うきしろスタンダード」も随時改良を重ねてほしい。</p>
--	--	--

		<p>(回答)</p> <p>まずは、市内小中学校全校において確実な定着を図り、状況を確認しながら、さらなる授業力向上を目指し改良を重ねていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食育の積極的推進</li> </ul> <p>(質問)</p> <p>平成30年8月1日、学校給食実施基準が改正され、特にマグネシウム、食物繊維の改正が目につく。発芽玄米は、マグネシウム、食物繊維が豊富な食材なので継続発展をお願いしたい。</p> <p>(回答)</p> <p>現在、改正後の学校給食実施基準を踏まえ献立作成を行っており、多様な食品を適切に組み合わせるとともに、児童生徒の嗜好の偏りをなくすよう配慮しつつ、各栄養素をバランス良く摂取できるよう努めている。発芽玄米については、栄養価が優れていることから、今後も予算の範囲内で、継続し、拡大の方向で提供していきたいと考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・早期療育事業の充実</li> </ul> <p>(質問)</p> <p>30年度決算見込み額にある「労災11,520円」は何か。</p> <p>(回答)</p> <p>雇用する臨床発達心理士と指導員の雇用に係る労災保険の掛け金である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オリジナル足袋（マイ足袋）作製体験事業</li> </ul> <p>(質問)</p> <p>オリジナル足袋の良い作品は市報に載せるなどの計画はあるか。郷土愛を育むふるさと学習として学校で行っていることを市民の方々に広く知ってもらう手段として市報に載せるのもよいと思う。</p> <p>(回答)</p> <p>市報に掲載することは「ふるさと学習」を市民に知っていただくよい機会となる。子供たちの学習や作業の様子を掲載することが「ふるさと学習」を推進していることへの周知につながるのではないかと考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行田市中学校事故調査検討委員会の提言への取組</li> </ul> <p>(質問)</p> <p>応急手当普及員が各校に複数在籍できるよう願います</p>
--	--	--

		<p>る。</p> <p>(回答) 今年度も、各小中学校とも2～3名の応急手当普及員を配置している。今後も複数在籍を続けていく。</p> <p>(質問) AEDの講習だが、女子生徒に配慮した使用方法の研修はあるのか。</p> <p>(回答) 普通救命講習や応急手当普及員再講習会棟の研修において、タオルで目隠しすることや女性教職員による処置を心がけるとともに、さらに人口呼吸時の専用マスクを用いることなど、女性だけでなく、高齢者や障がいのある人などへ対応した幅広い知識を活用したAEDの講習を行っている。</p> <p>・小中学校ICT先進モデル校整備事業</p> <p>(質問) これからの教科書には二次元バーコードが採用されている。各学校間で教育の質に差が生じないように早急な対応が求められている。</p> <p>(回答) 今年度、整備したモデル校において、検証を行い、より効果的に活用できるような整備について、研究していく。</p> <p>・企画展等の開催</p> <p>(質問) 年度により決算額のバラツキがあるのはなぜか。</p> <p>(回答) テーマ展・企画展では、充実した展示のため、関連する資料を他の収蔵先より借用して展示している。この際、安全な資料運搬のため、美術輸送専門業者に委託しての梱包・運搬が必要となる。展示の内容により、資料の借用点数・収蔵借入先が異なるため、資料運搬委託料及び資料調査活動にかかる額等が変動している。</p> <p>評価点検報告書の36ページ、37ページについて訂正を報告する。</p> <p>両ページの点検評価項目の効率性について、「低減する余地はない」となっているが、「低減する余地はあまりない」と修正をお願いする。</p>
--	--	--

		<p>・いじめそうだんホットラインの推進 (質問) 相談の電話とメールの比率はどのくらいか。</p> <p>(回答) 28年度以降、すべて電話であり、メールでの相談はない。</p> <p>これらいただいたご指摘を報告書に反映させ、さらにこの後、ご意見が伺ったうえで報告書を修正し、改めて配付する。 最終的に議会あてに提出し、公表したいと考えている。</p> <p>教育長 何か質問等はあるか。</p> <p>岸田委員 この点検評価報告書は教育委員会のみで行われていることなのか。</p> <p>教育総務課長 総合振興計画をはじめ、各種計画において報告を求められており、それぞれの部署において公表されている。</p> <p>岸田委員 第6次総合振興計画が策定される時期は、第5次総合振興計画の総括前ということになる。PDCAがきちんとできるのか。</p> <p>教育総務課長 通常、計画の終期と始期が同時期になる。これまでの10年間の推移を見て総括を行い、その推移を見て第6次総合振興計画を策定する。その際、教育委員会の点検評価の指標についても見直しする必要がある。</p> <p>岸田委員 事業の推移、指標の評価については、個々の事業のものであり、総合振興計画のまちづくり指標は達成されていないものが多い。総合振興計画の策定、点検評価の指標の設定については、マクロ的な視点で検討する必要がある。</p>
--	--	---



	<p>議案第53号 行田市立図書館協議会委員の委嘱について</p>	<p>大久保委員 図書館が9月から休館とのことだが、代替施設はあるのか。</p> <p>図書館長 雑誌・新聞は、教育文化センターみらいの談話コーナーにおいて閲覧、貸出、児童書の一部は、男女共同参画推進センターにおいて閲覧を行う。 学習席においては、みらい2階映像ホールを開放する。</p> <p>大久保委員 近隣市の図書館利用は可能か。</p> <p>図書館長 羽生市、鴻巣市、熊谷市、加須市とは、相互協定により、登録することで利用可能となる。</p> <p style="text-align: center;"><b>【全委員承認】</b></p> <p>教育長提案、書記次長議案朗読</p> <p>図書館長 本案は、行田市立図書館協議会委員について、選出団体である公民館運営審議会から推薦があった小林教子氏について、委嘱しようとするものである。 任期は、令和元年8月9日から令和2年6月30日である。</p> <p>教育長 何か質問等はあるか。</p> <p>岸田委員 会議等の場で、この委員会の意義や成果について説明いただきたい。</p> <p>図書館長 了解した。</p> <p style="text-align: center;"><b>【全委員承認】</b></p>
--	---------------------------------------	---

<p>議案第51号 令和元年度一般会計教育 費補正予算について</p>	<p>教育長提案、書記次長議案朗読</p> <p>教育総務課長</p> <p>本案は、令和元年9月定例会市議会に補正予算を上程するため、教育委員会へ諮るものである。</p> <p>歳出については、1項2目事務局費で110万円の増額計上で内容は、学校の再編成に関し、短期間での再編を計画している対象校8校について、再編後の新たな学校で使用する図書の選定作業を円滑に進めるため、それぞれ学校図書館の蔵書のデータ化を実施しようとするものである。</p> <p>具体的なデータ化の作業は、学校ごとに6千冊から1万冊の図書について、図書へのバーコードを貼付け、ISBNコードからMARCと呼ばれる書誌データを作成するもので、消耗品費70万8千円は、図書に張り付けるバーコードシールの作成経費、通信料4万7千円は、書誌データをデータベースからダウンロードするためのインターネット接続料、OAシステム利用料31万9千円は、データベースを提供している民間のWebサイトの利用料、事業用器具費2万6千円は、図書室にインターネット接続環境がないことから、直接外部の回線に接続するための通信機器の購入費である。</p> <p>なお、データ化の作業については、本年度、非構造部材耐震工事に伴い、図書館が閉館となる期間中に、図書館勤務の臨時職員を派遣いただき実施することとしており、人件費は計上していない。</p> <p>教育長 何か質問等はあるか。</p> <p>岸田委員 データ化するソフトはどのようなものか。</p> <p>教育総務課長 全国の公共図書館の80%以上で使用されているTRCMARCである。今回はデータ化のみであるが、いずれは貸し出しにおいても活用できるものと考えている。</p> <p>岸田委員 現在、各学校で使われているソフトなのか。</p>
---	--

		<p>教育総務課長 このTRCMARCを使用している学校は1校で、その他の多くの学校はトーハンMARCである。</p> <p>岸田委員 以前、学校で図書台帳を作成したがかなりの時間を要した経験がある。データ化に係る作業時間はどのくらいを見込んでいるのか。</p> <p>教育総務課長 書籍にISBNコードにバーコードが付いていれば、バーコードを読み込むことにより図書情報が得られる。バーコードがないものは数字を打ち込む作業、どちらも無いものは手入力しなければならないが、すべてを紙ベースで作業することよりはかなり短時間で済む。</p> <p>岸田委員 具体的な労力や日数は、どのくらいか。</p> <p>教育総務課長 2人1組を2組で、各学校約2週間、全体で5ヶ月を見込んでいる。学校にも協力いただくことが生じるが、作業については、経験のある図書館の臨時職員に依頼する。</p> <p>岸田委員 作業については、学校と相談しながら無理のないように進めていただきたい。</p> <p>鹿山委員 使用に耐えない古い蔵書も再編後の学校で使用するのか。</p> <p>教育総務課長 使用に耐えない蔵書は、先に廃棄処理をしたほうが作業的に効率的であると言われている。 その後、再編後の学校で使用するものを分別することになる。</p> <p><b>【全委員承認】</b></p>
--	--	---

教育長

以上で、本日の日程を終了し、定例会を閉会とする。

そ の 他 特 に 重 要 と 認 め る 事 項

1 次回定例会開催予定日 令和元年9月27日(金) 午後2時00分

行田市教育委員会 2A会議室

以上、顛末を記載して、その発言内容に相違がないことを証するため、ここに署名する。

教育長

委 員

委 員